

西宮市立中央病院の 跡地にかかる地域懇談会

(第7回)

令和5年11月21日

西宮市立中央病院

(1) 前回会議（R4.10月）以降の動き

- ① 建設資材費等の高騰
- ② 統合新病院整備事業の入札不調
- ③ マンション開発の規制緩和
- ④ 参入可能な医療法人について
- ⑤ サウンディング型市場調査（3回目）の結果報告

(2) 統合新病院整備事業の進捗状況

(1) 前回会議（R4.10月）以降の動き（まとめ）

- ① 建設資材費等の高騰の影響
 - ・ 物価高騰の影響で工事費が上がっており、工事費に関して先が見通せない状況
- ② 統合新病院整備事業の入札不調
 - ・ 工事費高騰で、新病院の整備費は273億円から420億円に増額。市内の医療環境の向上のため、事業は進めたが、結果、市の財政への影響も大で、跡地活用における収益性の重要度が増している
- ③ マンション開発規制の緩和
 - ・ マンション開発規制が緩和されたことで活用の幅が広がり、地代水準の上昇が見込まれる
- ④ 参入可能な医療法人について
 - ・ 参入可能な医療法人は、原則、阪神圏域圏域内に限られる
- ⑤ サウンディング型市場調査（3回目）の結果報告
 - ・ 医療法人の参加は2者のみ
 - ・ 物価高騰で病院整備にかかる費用も増加するため、負担できる地代が課題

(2) 統合新病院整備事業の進捗状況





至西宮北口

阪神国道駅

救急ワークステーション

至大阪

国道2号

至神戸